

## 進化する急性期病院の看護

～地域とつながる看護をめざして～

急速な高齢化の進展により、医療や病院のあり方は大きな転換期を迎え、当院は平成 28 年 10 月から急性期機能に加え、地域包括ケア病棟（52 床）を導入し運営しています。

「ときどき入院、ほぼ在宅」のキャッチコピーで表現されている地域包括ケアシステムは、今や地域や在宅でのサービス提供体制の整備が急務とされています。

当院は「地域の人々の健康を護る」という組織使命の下、身体疾患の治療に全力を注ぐ一方で、入退院支援センターを設置し、入院前から退院後を見据えたケアの提供に向けて、院内連携のみならず、地域とのシームレスな医療の提供に真剣に取り組んでいるところです。地域の医療ニーズに応えるためには、そこで暮らす患者さんの状況を正しく捉え、その患者さんに最適で最善のケアを提供する必要があります。

そこで当院はこのたび、地域で暮らす患者さんの看護上のお困りごとに対して、他施設で訪問によるケアを担当されている看護職の方から、相談をお受けする体制を整えました。相談内容により、当院の関連する複数分野の専門・認定看護師等が連携し、共に最善のケアについて検討させていただきます。また、研修会や勉強会等の要請にも柔軟に対応いたします。最新の情報を盛り込んだホットな話題を提供してまいりますので、どうぞ、お気軽にお声かけ下さい。

翻って当院から、在宅療養へ移行し、暮らしの場においてケアを担当されている看護職の方には、これまで以上に退院前カンファレンスや、退院前後訪問の場において、患者さんの在宅療養における情報を共有させて頂きたく思っております。そして学び得た在宅療養支援の視点やスキルを、直ちに入院中の患者さんへフィードバックし、少しでも安心し自信を持って退院して頂ける支援をしていきたいと考えております。

これらはまだ小さな取り組みではありますが、今後さらに整備を進め、皆さま方から一層頼りにして頂ける東京労災病院看護部を目指していく所存です。

当該地区の医療を担う専門職同士、連携し合いより良い地域づくりを進めていければと考えます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



東京労災病院 看護部長  
眞部 高子

看護部で行われている地域医療・看護連携の取り組みを一部ご紹介いたします。

## 入退院支援活動

### 入退院支援センター



看護師長  
高松 洋子

4月から金子師長へ交代いたします。今までありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。



入退院支援センター  
看護師長  
金子 美樹

入退院支援センターでは、PFM (Patient Flow Management) 看護師が在籍しています。PFM 看護師は、患者さんやご家族が入院前から安心して医療に参加できるように入院予約時に面談し、社会的・身体的リスクの把握と早期に問題解決できるよう介入しています。また、退院困難な患者さんについて病棟看護師・主治医・各認定看護師・リハ技師・薬剤師・栄養士など多職種と情報共有し、退院に向けての進捗状況の確認調整をしています。そして、ケアマネージャーや訪問看護師・訪問医等、地域の在宅チームの方々と病院を繋ぐ窓口としての役割を果たせるように努めています。

### 退院後訪問を実施して

退院後、訪問看護師の方に同行し、指導の継続や問題点を確認するために訪問をしています。訪問すると患者さんや家族の方が「家に帰ることができて良かった」と笑顔で話される場面によく遭遇します。その姿は、次の看護ケアへ繋がる励みになっています。



入退院支援センター  
PFM 看護師  
坏 雪絵

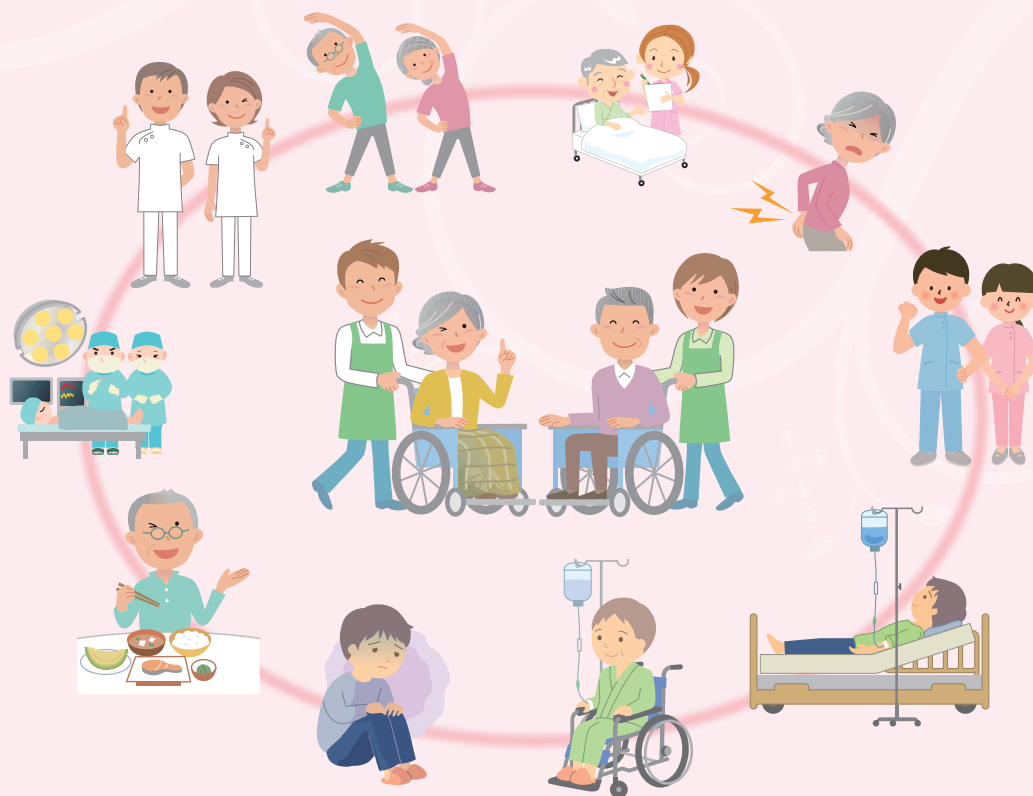


病棟看護師  
高木 美里

患者さんが入院された時から退院に向けてリハビリ見学やカンファレンスに参加し、患者さんご家族が同じ空間で共に生活できるように関わりました。その後退院後訪問により、患者さんが住み慣れた自宅で家族と共に生き生きとした表情で過ごされているのを目の当たりにしました。しかし退院後の生活については、患者だけではなく家族も戸惑いや疲労感があったということを知りました。これからは入院時からご家族のフォローについても地域の医療従事者の方々と連携を深め、安心して自宅で過ごされるように関わりたいと思います。

## 専門看護師・認定看護師の活動

看護部には1分野1名の専門看護師、9分野14名の認定看護師が在籍し、組織横断的な活動をしています。入院中の患者さんだけでなく、退院後、地域で患者さんが自分らしい生活を続けるための支援を専門的な看護の視点から実践します。



### 認定看護師の院内連携の様子

#### 皮膚排泄ケアと緩和ケア

患者さんの褥瘡ケアに皮膚排泄ケア認定看護師と緩和ケア認定看護師が一緒に関わります



#### 感染管理と集中ケアと摂食嚥下障害

感染管理認定看護師、集中ケア認定看護師とともに、摂食嚥下障害認定看護師が患者さんの情報を共有し、対策を検討します





## 専門看護師・認定看護師を紹介します

### 在宅患者への同行訪問



皮膚排泄ケア認定看護師  
鈴木 理枝



皮膚・排泄ケア認定看護師として同行訪問を実施していますが、在宅で療養されている患者さんへの訪問はとても緊張します。訪問看護師・介護士の方々が患者さんやご家族の方に関わることで表情が和らぐところを見ると、地域で生活することの大切さを感じます。

今後さらに同行訪問を継続し、患者さんだけでなくご家族の方も安心して在宅で過ごせるよう、専門的知識、技術を訪問看護師の方にも提供させていただき、よりよい看護を提供してまいります。

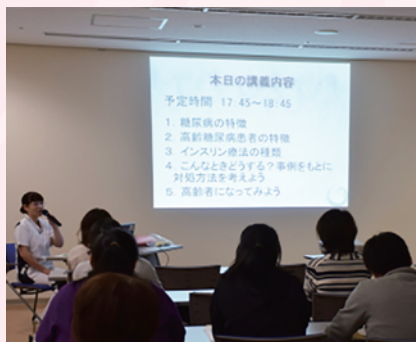
### 地域の医療従事者対象の研修会



糖尿病看護認定看護師  
岩塚 晶子



当院では専門・認定看護師が地域の看護・医療職の方々に向けて院内で勉強会を開催しています。地域の皆さんと意見交換をした時に、実践や体験型の勉強会が必要だと感じ、今年度は「高齢糖尿病患者への看護」をテーマに、網膜症や高齢者の体験をしながら血糖測定やインスリンのデバイスを触るという研修会を開催し、良い評価を受けました。今後も在宅患者の看護で困っていることや知りたいことを中心とした勉強会を院外でも開催したいと考えています。



それぞれの領域で  
皆様の支援をいたします！

### 手術看護

早期回復に向け、安心して手術を受けていただけるよう術中ケアを中心に実践しています

手術看護認定看護師  
末永 直美



### 精神看護

病気や介護等様々な悩みを抱える方々に寄り添い、心の負担を和らげる活動してまいります



精神看護専門看護師  
柳田 香織

### 皮膚排泄ケア

ストーマを造設しても、褥瘡があっても患者さんが今までと同じ生活が出来るように支援いたします



皮膚排泄ケア認定看護師  
久保木 優子

### 感染管理

感染予防・感染対策を行い、患者さん、ご家族の方々を感染から守れるよう支援いたします



感染管理認定看護師  
遠藤 洋子

患者さんを取り巻く人々・環境を中心に、感染予防に必要な技術と看護が提供されるよう支援いたします



感染管理認定看護師  
熊澤 美紀子

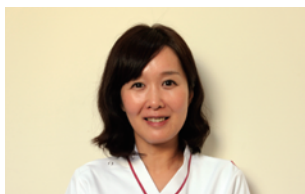
### 摂食嚥下障害

人が生きるうえでの「看護の原点」として、食生活へのアプローチを実践いたします



摂食嚥下障害認定看護師  
金澤 典子

「口から食べる幸せ」のために、食べられる口づくりや身体づくり、嚥下評価・姿勢や食物調整を行います



摂食嚥下障害認定看護師  
高松 知なつ

### 糖尿病看護

患者さんが食事や運動など日頃の生活習慣を見直すことができるよう支援いたします



糖尿病看護認定看護師  
小泉 麻美

### 透析看護

透析療法を必要とする患者さんに対し、安全で安楽な治療を行ない療養生活の支援いたします



透析看護認定看護師  
吉本 隆史

### がん化学療法と緩和ケア

抗がん剤治療を受ける患者さんが、安心して治療の継続ができるよう支援いたします



がん化学療法認定看護師  
内田 朋子

患者さんやご家族の方々に寄り添い、全人的苦痛を少しでも軽減できるように支援いたします



緩和ケア認定看護師  
大久保 麻依

### 集中ケア

生体への侵襲を最小限とし合併症なく早期回復できるように看護いたします



集中ケア認定看護師  
石井 早苗

超急性期にある患者さんの早期回復に向けて必要な看護ケアの提供及び危機的状況にあるご家族の支援をいたします



集中ケア認定看護師  
亀迫 純也

## 看護外来で活躍する看護師

外来では、看護職の専門性をいかし、看護外来を設けています。

各看護外来や療養指導では、患者さんの状況に合わせ、具体的なケアや相談を心掛けています。今後は、在宅での患者さんのセルフケアの促進が重要になり、患者さんそれぞれの力を引き出し、安心して安全な日常生活が送れるよう支援をしていきたいと思ひます。また、担当するスタッフ間も連携を深め、より活気のある看護外来へと成長し続けたいと思ひます。

### フットケア外来



糖尿病看護認定看護師

### ストーマ外来



皮膚排泄ケア認定看護師

## これからの看護部

当院では、看護師・認定看護師による退院後訪問、認定看護師による同行訪問とともに、認定看護師への看護相談を実施しています。在宅・地域で療養している患者さんの看護の困りごとについて聞きたくても聞けなかった相談事や、認定看護師の出張勉強会などの相談も承っています。どうぞ、お気兼ねなく声をおかけください。

### 認定看護師同行訪問・認定看護師相談システムのご案内

#### 認定看護師同行訪問

在宅療養中の患者さん（真皮を超える褥瘡のある方・鎮痛療法または化学療法を行っている緩和ケアニーズを持つ悪性腫瘍の方）で通院困難な方に、退院後も当院の認定看護師が訪問看護師と同行訪問し、協力してケアを提供いたします。

#### 認定看護師相談システム

大田区内の訪問看護師を対象に、訪問の同行や勉強会開催など、認定看護師がご相談に対応させていただきます。

#### ●利用方法

当院ホームページ（<http://www.tokyoh.johas.go.jp/>）医療連携ページ内にありますそれぞれのご案内ページ用紙をダウンロードし、必要事項を記入後FAX（地域医療連携室 03-3742-7314）でお申し込みください。お申し込みいただいた内容をもとに、担当者からご連絡いたします。

詳細は東京労災病院ホームページ（<http://www.tokyoh.johas.go.jp/>）  
または地域医療連携室（直通 03-3742-7129）へお問い合わせください。



# 病病・病診連携サービス実態調査結果について

東京労災病院では、地域医療連携に対する取組の一環として、毎年1回ご紹介をいただいた先生方に当院の医療や連携システム等についてアンケートをお願いしております。

昨年11月に大田区内および近隣の医療機関を対象に実施をいたしましたので、その結果をご報告させていただきます。

ご回答を頂きました先生方には、お忙しい中ご協力をいただき誠に有難うございました。

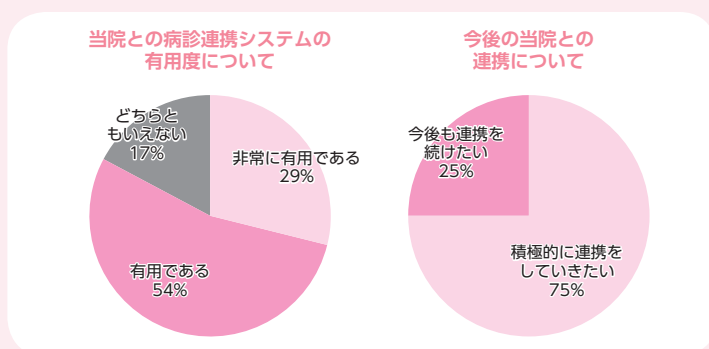
\* 調査依頼機関数：216 機関      \* 回答機関：81 機関      \* 回答率：37.5%

## ■当院の治療水準の満足度について

	重視度 (%)	満足度 (%)
診断	98.8	95.0
治療	98.8	88.8
手術	97.5	92.4
検査	98.8	95.0
撮影	96.3	96.1
画像診断	96.3	96.1

多くの先生方が治療水準を重視されており、それぞれの項目で高い満足度をいただいております。今後も更に満足いただけるよう治療などを行ってまいります。

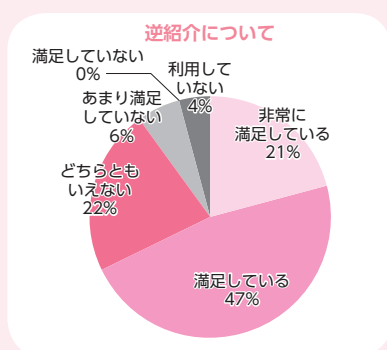
## ■当院の病病・病診連携システムの有用度などについて



全体的な評価として、約8割の先生方に当院の病病・病診連携システムや症例検討会等の活動が、日頃の診療を行う上で役立っているとの高評価をいただきました。

また、全ての先生方に、今後、患者さんのご紹介を含め当院との連携を続けたい、とのとても有り難い回答をいただきました。

## ■紹介患者さんの逆紹介について



一方で、ご紹介頂いた患者さんの逆紹介について、約3割の先生方に満足いただけていないことが分かりました。紹介患者さんは、原則、紹介元の先生方へ逆紹介を行う取組を一層徹底してまいります。

## ■ご意見・ご要望について

様々なご意見・ご要望をいただいた中で、「紹介した患者さんの手術を見学したい。」とのご要望がありました。当院が予定した手術日と先生方のご都合が合いましたら、是非、見学にお越しください。その際は「共同診療」として対応をさせていただきます。「共同診療」につきましては次項をご参照ください。

皆様からいただきましたご意見を基に、今後も、より一層の連携サービスの向上に努めてまいります。

## 共同診療のご案内

当院では、患者さんへの継続性・一貫性のある医療の提供と、地域医療連携の強化を図る観点から、先生方が紹介いただいた患者さんの状態を把握することができる「共同診療」を行なっておりますので、是非ご利用下さい。

(1) 紹介いただき入院となった患者さんの入院病棟等を、担当医または地域医療連携室より文書でお知らせします。

### (2) 共同診療及び指導の利用について

▶ 1. 事前に電話で来院日時等をご連絡下さい。担当医等へ連絡・調整を行います。

- ① 平日 9 時～ 17 時までは、「地域医療連携室」へ
- ② 平日 17 時以降、土、日、祝日は、「救急事務受付」へご連絡ください。

▶ 2. 訪問日当日

- ① 平日 9 時～ 17 時までは、「地域医療連携室」へ
- ② 平日 17 時以降、土、日、祝日は、「救急事務受付」へお越しください。  
名札（「共同診療医師」と白衣をご用意いたします。

▶ 3. 患者さんの入院病棟あるいは診察室、手術室等のご案内します。

「共同診療」の例

- ・患者さんの診察 ・手術の執刀、補助 ・検査の実施
- ・経過や治療方針などについて、当院担当医との話し合い・カルテ等の閲覧

▶ 4. 診療後、共同診療・指導を記録する当院所定の用紙（開放型病床共同診療録）へご記入後、写しを持ち帰りいただき、ご自身の医療機関の診療録に貼付して下さい。

▶ 5. 名札と白衣をお返し下さい。

お車で来院の場合は、無料の手続きをいたします。

- ① 平日 9 時～ 17 時までは、「地域医療連携室」へ
- ② 平日 17 時以降、土、日、祝日は、「救急事務受付」へお申し出ください。

### 共同診療にかかる診療報酬の請求について

共同利用に伴う診療報酬の請求は、登録医と病院それぞれが行います。

登録医は以下の請求が可能です。

▶ 1. 入院患者さんの共同診療を行った場合

開放型病院共同指導料（I） 350 点（1 人につき 1 日 1 回、月に何回でも算定可。）

▶ 2. 退院時、退院後の療養上必要な指導を共同で行った場合

退院時共同指導料（I）

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1) 在宅療養支援診療所 | 1,500 点 |
| 2) 上記以外の診療所  | 900 点   |

### お問い合わせ先

東京労災病院 地域医療連携室 電話：03-3742-7129（直通） 平日（月～金曜日）8：15～17：00